

| | | |
|---------|-----------|--------------------|
| 資料提供年月日 | 令和4年5月18日 | |
| 問い合わせ先 | 課名 | 岡山芸術交流 実行委員会事務局 |
| | 電話 | 086-235-8020 |
| 担当者 | 氏名 | 坂本・宍戸 |

広 報 連 絡

- 1 件 名 岡山芸術交流2022 追加作家ならびにロゴの発表
- 2 内 容 5月18日（水）に開催された令和4年度第1回岡山芸術交流実行委員会総会において、岡山芸術交流2022の追加作家ならびにロゴの発表を行いました。
- 3 備 考 詳細は別紙1、別紙2をご確認ください。

岡山芸術交流 2022 参加アーティストの追加について

追加アーティスト (2 組)

島袋道浩 | Shimabuku (1969 年、日本)

1969 年、神戸市出身。現在は那覇市を拠点に世界各地で活動中。

島袋は、主要な国際展示会に数多く参加しており、その中には第 57 回ヴェネツィア・ビエンナーレ (2017 年)、第 14 回リヨン・ビエンナーレ (2017 年)、第 12 回ハバナ・ビエンナーレ (2015 年)、第 9 回台北ビエンナーレ (2014 年)、第 11 回シャルジャ・ビエンナーレ (2013 年)、第 27 回サンパウロ・ビエンナーレ (2006 年)、リバプール・ビエンナーレ (2006 年)、第 11 回シドニー・ビエンナーレ (1998 年) などがある。

主な近年の個展としては、モナコ国立新美術館 (2021 年)、クレダック現代アートセンター、イブリー、フランス (2018 年)、クンスト・ハーレ・ベルン、スイス (2014 年)、アイコン・ギャラリー、バーミンガム、U.K. (2013 年) などが挙げられる。



Shimabuku, *Swan goes to the Sea*, 2014

Performance view: “Imagineering” Okayama Art Project

©Shimabuku, Courtesy of the artist

Untitled Band (Shun Owada and friends)

大和田俊を中心に、村岡充、木村匡孝、大木裕之、曾根裕らアーティストで構成されるバンド。曾根裕の声かけにより、2021 年秋に岡山で結成。

※すでに参加を公表していたアーティストのうち以下の 3 名は諸般の事情により辞退となりました。

■上松祐司 / Yuji Agematsu (日本)

■荒川医 / Ei Arakawa (日本)

■イ・ブル (李晙) / Lee Bul (韓国)

岡山芸術交流 2022 参加アーティスト（令和4年5月現在）

| | アーティスト名（日／英） | 出生地（活動国） |
|-------|--|----------|
| 1 | ラゼル・アハメド／Rasel Ahmed | アメリカ |
| 2 | アート・レーバー・コレクティブ／Art labor Collective | |
| 3 | 王兵（ワン・ビン）／Wang Bing | 中国 |
| 4 | ダニエル・ボイド／Daniel Boyd | オーストラリア |
| 5 | リジア・クラーク／Lygia Clark | ブラジル |
| 6 | アブラハム・クルズヴィエイガス／Abraham Cruzvillegas | メキシコ |
| 7 | 池田亮司／Ryoji Ikeda | 日本 |
| 8 | 円空／ENKU | 日本 |
| 9 | 片山真理／Mari Katayama | 日本 |
| 10 | ミー・リン・ル／My-Linh Le | アメリカ |
| 11 | デヴィッド・メダラ／David Medalla | フィリピン |
| 12 | アジフ・ミアン／Asif Mian | アメリカ |
| 13 | プレシャス・オコヨモン／Precious Okoyomon | イギリス |
| 14 | フリーダ・オルパボ／Frida Orupabo | ノルウェー |
| 15 | ヴァンディー・ラッタナ／Vandy Rattana | カンボジア |
| 16 | バルバラ・サンチェス・カネ／Barbara Sanchez Kane | メキシコ |
| 17 | 笹本晃／Aki Sasamoto | 日本 |
| 18 | ジャコルビー・サッターホワイト／Jacolby Satterwhite | アメリカ |
| 【新】19 | 島袋道浩／Shimabuku | 日本 |
| 20 | 曽根裕／Yutaka Sone | 日本 |
| 【新】21 | Untitled Band (Shun Owada and friends) | |
| 22 | アピチャッポン・ウィーラセタクン／Apichatpong Weerasethakul | タイ |
| 23 | 梁慧圭（ヤン・ヘギュ）／Haegue Yang | 韓国 |

岡山芸術交流 2022 ロゴについて



岡山芸術交流 2022 のアートキュレーションが、詩的かつ文学的な作品が多いと感じる特性もあるので、どこかポエティックで文学的なニュアンスを感じられるよう、ローマン体・明朝体の組み合わせで上品かつ格調が高い文章に見える書体の選定を行っています。

カラーは、岡山の歴史文化／岡山城などをモチーフとしモノトーンをキーカラーに。そして、空のブルーと融合させた「ブルーグレー」をアクセントカラーとして新たに選定し、アイテムにも展開していきます。

岡山芸術交流 2022
公式デザイナー
川上シュン

公式デザイナー

川上シュン shun kawakami

artless Inc. 代表／ブランディングディレクター／アートディレクター／デザイナー／アーティスト

ブランディング・エージェンシー artless Inc. 代表。独学でデザインとアートを学び、現在、東京と海外を行き来しながら、アート／デザイン／ビジネス、そして、グローバル／ローカル と多角的視点を軸としたグラフィックデザインから建築まで包括的なブランディングを行っている。また、アーティストとしての活動も行っており「日本独自の美的理念」へ回帰しながらも「アートとデザイン」そして「東洋と西洋」を融合的に捉え、独自の視点と価値観でのグラフィックアートやインスタレーション作品の制作と発表も行う。

受賞歴は、NY ADC/Young Guns 6、NY ADC、NY TDC、ONE SHOW.、D&AD、RED DOT、IF Design Award、DFA: Design for Asia Awards、Iconic Awards、Top Awards Asia、カンヌライオンズ 国際クリエイティビティ・フェスティバル／金賞など、多数の国際アワードを受賞している。